

## 南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
区民と協働した多職種連携健康づくり推進事業					
事業目的	事業内容	活動指標	H26	H27	H28
区民が主体となり、南保健センターの多職種（保健師・管理栄養士・歯科衛生士等）と協働した多面的な健康づくりの取り組みを実施することにより、ソーシャルキャピタル（地域コミュニティ組織等の社会資本）を育成し地域力を高め、区民の健康レベルの向上につなげる。	①地域の自主的な住民組織である南区健康づくり推進委員会（以下「推進委員会」）の質的な向上を図るために、「地域と行政の協働」をテーマに講師を迎えて研修会を実施した。 ②キャッチフレーズ等を印刷したミニのほりを作成した。 ③みみちゃんを活用した啓発用キーホルダーを作成した。 ④大腸がん健診の受診勧奨ポスターを作成した。 ⑤若い世代向け、規則正しい生活習慣の啓発を目的としたみみちゃんLINEスタンプを作成した。 29年度は、②～⑤の作成物を活用し、図書館・幼稚園・地域会館など南区内関係機関と連携し広く啓発していく。	「健康広場」来場者数	806	1,176	1,333
		自主活動グループ把握数	18	21	23
		自主グループ参加人数	1,145	1,210	1,240
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 南保健センターの専門職からだけでなく、区民から区民へ啓発することで健康づくりを拡げることが、いろいろな層に幅広く、身近な人から話を聞くことができる点などメリットが大きい。②～⑤は市の重点取組であるがん対策にも沿う内容となっている。	◎ 研修会には、協働によるまちづくりに詳しい講師を招き、グループワークの持ち方などについてのアドバイスを取り入れた。また、区全体での取り組みとなるよう、推進委員会に参加していない自主活動グループ会員や民生委員児童委員にも広くよびかけた。保健センター内では、専門性を活かしつつ各職種が協力し事業をすすめた。	○ 平素作成できないグッズを作成することができ、ある程度数量もあることから、普段配架できない場所や一斉に活用することも可能である。また、デザインや分かりやすいメッセージの発信などの工夫をしたことで、親しみやすく受け入れやすいものにした。	○ 自主活動グループや南区民が検診受診の重要性や健康づくり、栄養や歯科保健について幅広い知識を身につける。その上で、②～④の媒体等を活用し、他の区民に主体的に伝えていくことで、地域が活性化され、健康づくりが効率的に高まっていく。		
⑤自立発展性	⑥総合評価				
◎ 推進委員会のメンバーは地域で、すでに健康づくりの啓発を進めており、今後もさらに拡げることが見込まれる。南保健センターは、これからも研修や協働で事業を実施し支援していく中で、健康づくりについて主体的に活動ができる人材を育成していく。	◎ 研修会では、推進委員会のメンバーだけではなく民生委員児童委員も参加し、区全体のことを考える良い機会となった。事後アンケートでも「元気をもらった」「活動を広げていきたい」との意見も多数あった。「健康広場」や南保健センター主催の講座などで、健康づくりの実践や重要性を自身のことばで伝えることができるメンバーが増加しつつある。こうしたことに重きをおき、南保健センターは地域力を高め、区民の健康レベルの向上のために、健康づくりを主体的に広げられる人材の育成や、健康づくりに取り組みやすい環境づくりを、区民と共にすすめていきたい。				
今後の方向性（課題、改善提案等）					
拡充 継続 見直し 廃止	今後も南保健センター内の多職種や南区役所の他課とも連携を深め、区民との協働を楽しみながら、がん検診の受診率向上等、南区の健康づくりをすすめていきたい。				